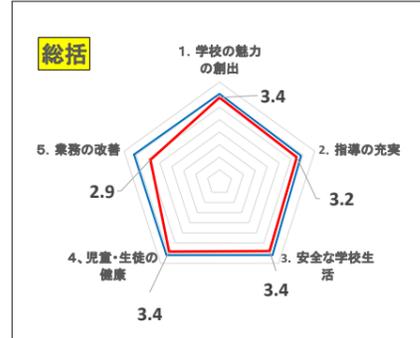
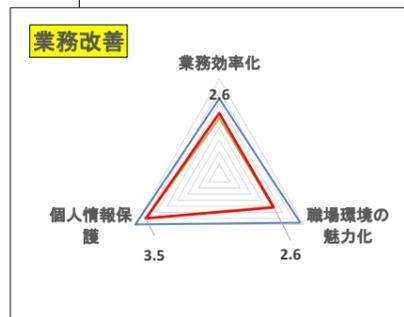
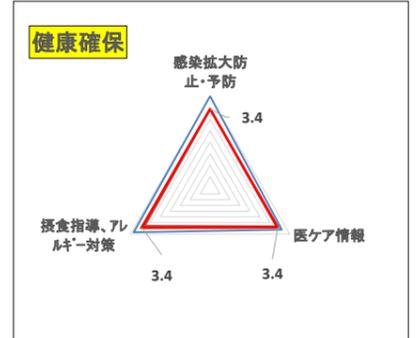
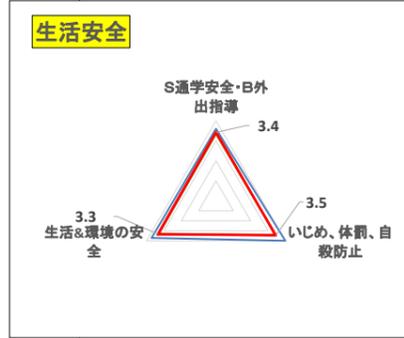
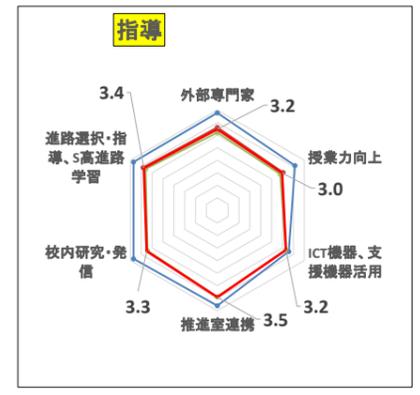
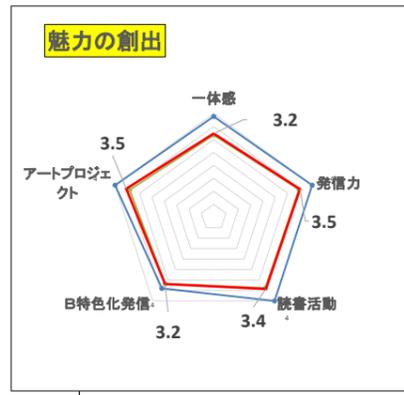


令和4年度 学校評価総括表

領域	項目	協議委員	保護者	教職員	平均(R4)	R3	R2	R4	R3	R2
1 魅力創出	一体感	3.9	3.3	3.2	3.2	3.3	3.5	3.4	3.5	3.5
	発信力	4	3.5	3.5	3.5	3.6	3.6			
	読書活動	4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.4			
	B特色化発信	3.4	3.1	3.2	3.2	3.4	3.6			
	アートプロジェクト	4	3.7	3.4	3.5	3.6	3.5			
4 指導	外部専門家	3.9	3.3	3.1	3.2	3.6	3.4	3.2	3.4	3.4
	授業力向上	3.6	3.0	2.9	3.0	3.3	3.3			
	ICT機器、支援機器活用	3.3		3.1	3.2	3.2	3.7			
	推進室連携	3.8		3.4	3.5	3.6	3.3			
	校内研究・発信	3.9		3.2	3.3	3.5	3.3			
	14 指導	進路選択・指導、S高進路学習	3.9	3.4	3.3	3.4	3.6			
S高進路学習		3.4	3.4	3.3	3.4	3.5	3.5			
7 生活安全	S通学安全・B外出指導	3.6	3.5	3.3	3.4	3.4	3.5	3.4	3.6	3.6
	いじめ、体罰、自殺防止	4.0	3.4	3.5	3.5	3.6	3.7			
	生活&環境の安全	3.7	3.4	3.3	3.3	3.7	3.7			
10 健康確保	感染拡大防止・予防	4.0	3.4	3.4	3.4	3.7	3.6	3.4	3.6	3.5
	医ケア情報	3.6	3.3	3.4	3.4	3.7	3.6			
	摂食指導、アレルギー対策	3.8	3.3	3.5	3.4	3.5	3.3			
3 業務改善	業務効率化	3.2		2.4	2.6	2.8	3.6	2.9	3.3	3.6
	職場環境の魅力化	3.9		2.5	2.6		3.5			
	個人情報保護	4.0		3.5	3.5	3.8	3.6			

領域	R4	R3
1. 学校の魅力の創出	3.4	3.5
2. 指導の充実	3.2	3.4
3. 安全な学校生活	3.4	3.6
4. 児童・生徒の健康	3.4	3.6
5. 業務の改善	2.9	3.6

R5. 2. 03 都立光明学園



保護者配布用

令和4年度
学校評価
総括



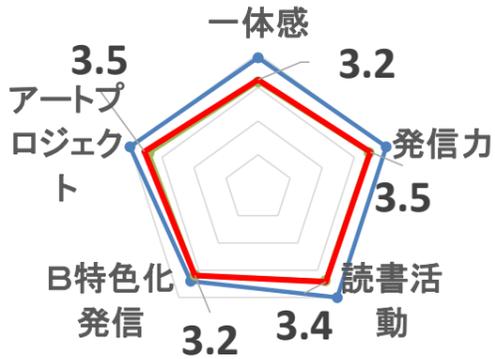
この「総括」は、学校評価に答えていただいた全ての協議委員、保護者、教職員の回答を項目ごとにまとめ、平均値をチャート化して表したものです。

詳しくは、別配の「令和4年度 学校評価 集計結果と今後の方針」を御覧ください。

東京都立 光明学園

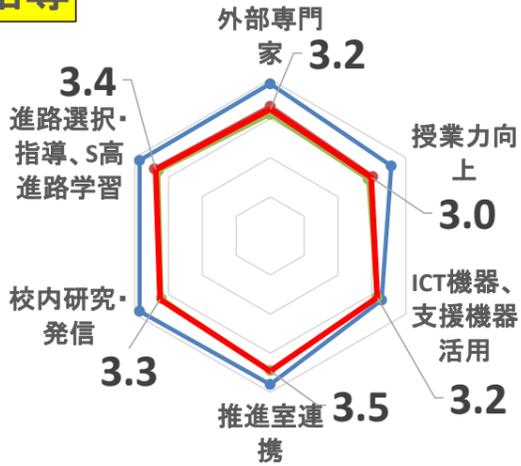
令和4年度 学校評価 集計結果とまとめ 総括

魅力の創出



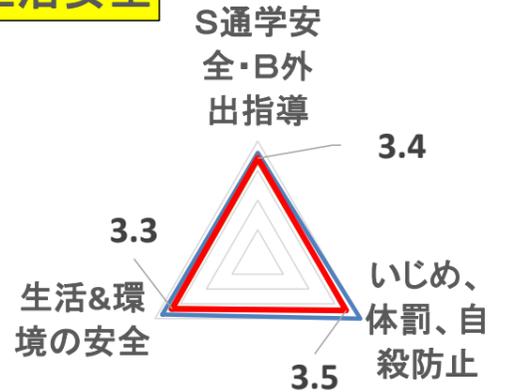
昨年度に引き続き、両部門学園生の読書活動推進のために「読書推進月間」「POPコンテスト」等の取組みを行いました。読書活動が学園生に定着してきていると評価していただきました。東京都特別支援学校読書活動推進校としての活動にも力を注いでいきます。「アートプロジェクト」の取組みは本校の特色として知られるようになり、見学者、関係機関からも称賛をいただいています。コロナ禍においても、多くの方に本校の教育内容を広く知っていただける機会をもてるように、ホームページやTwitterを用いて、常に情報発信しています。内容を充実させて、今後も本校の教育活動を内外に御理解いただけるよう努めてまいります。

指導



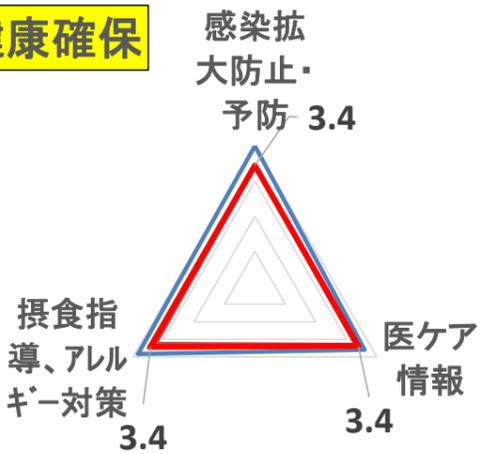
2月4日に「全国公開研究会」をオンラインで実施し、全国から330名の参加がありました。授業改善システム「授業者支援会議」両部門キャリア教育に関する実践、アートプロジェクトやデジタルアート芸術教育の実践、外部専門家連携による授業改善等、本学園の特色ある教育実践を広く全国に発信できました。保護者のみなさまにもこうした研修の様子や成果について、分かりやすく発信し御理解いただけるように努めてまいります。約40名ほど任用している外部専門家による指導の様子について、より具体的に知りたいという御要望がありました。担任をとおして指導・助言の内容をお伝えできるように取組んでまいります。

生活安全



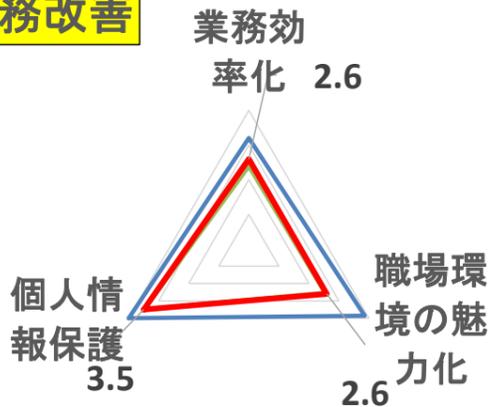
B部門学園生の一人通学や一人外出は、寄宿舎との連携のもと、個別目標・計画に沿って適切に実施できました。S部門学園生の安全確保のためにスクールバス安全運行に関わる研修を計画実施しました。次年度2学期より工事の為、利用可能な駐車場は北棟のみとなります。運営が難しい局面が想定されます。春から夏にかけて研修や準備を行い安全運行継続で実現します。学園の防災安全は、北棟校舎の利用開始に合わせて既存のシステムを見直しました。防災訓練の内容、防災倉庫の運用、各種機器や用具の活用、有事の際に教職員が学園生の命をどのように守るかが最も重要です。今後もこれらの課題を保護者の皆様と共有し、連携して改善を進めてまいります。

健康確保



感染症対策や感染拡大期の出欠状況速報を中心とした「健光の橋」、医療的ケアの情報を中心とした「光明の橋～医療的ケア版～」で情報発信を進めてまいりました。感染状況を踏まえ、遅刻・早退時の保護者の校舎内立ち入り制限を緩和しました。今後5類への移行に伴う感染症対策の制限緩和等の変更があれば、随時お伝えしてまいります。医療的ケアは関心の高い専用通学車両への学校看護師乗車回数確保に向け、校内体制を整えてきました。すべてのニーズを満たすまでには至りませんが、次年度も「学園生の自立と社会参加」「保護者の負担軽減」のために取組みを進めます。摂食指導は、3年ぶりに教職員対象の摂食指導研修会を一部実技指導と映像等を利用し、実施できました。指導技術の向上を図り、給食指導に生かしてまいります。

業務改善

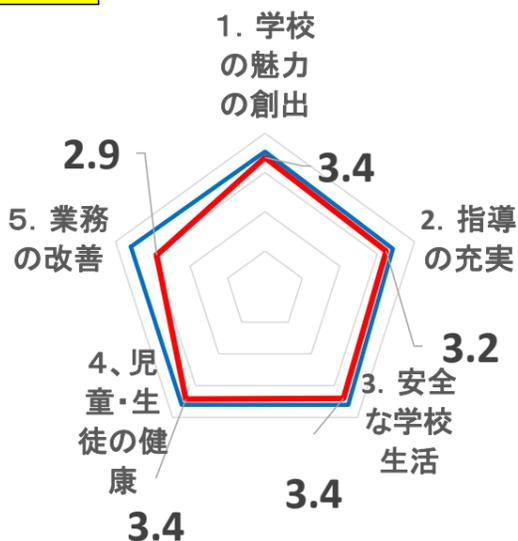


業務効率化では、今年度の途中から業務等を管理するシステムが稼働しました。教職員自身が出勤時刻を把握できるようになりました。超過勤務は引き続き課題です。教職員一人一人に自分の働き方を意識させ、学校組織として業務の効率化を推進してまいります。職場環境の魅力化では、職員室をはじめ効率的な執務環境になるよう改善を進めています。北棟が完成し教職員の休養室が設置されました。職員室内のリフレッシュ機能の充実にも取り組み、コーヒーマシンの導入を検討しました。今後も魅力的な職場環境作りを進めてまいります。職員室では最新の教員用デスクを使い始め、個人情報保護には全教職員が高い意識をもって対応しています。クリーンデスク・デイを設定し、机上整理整頓を心掛けています。今後も業務事故を起こさないように業務に努めてまいります。

1 グラフについて
5種類のグラフは各設問の回答数値の全体平均値を表しています。「未回答」と「わからない」を除いた全回答の平均値を算出しています。■総括の数値は前掲5種類のグラフの各設問の平均値を更に平均して求めた数値を示しています。

2 グラフの線について
赤色実線(——) = 今年度のポイント
青色実線(——) = 昨年度同項目のポイント

総括



▶回答率向上に取組みました。保護者回答率は両部門を合わせて52%となり、前年度40%に満たなかった回答率が50%を超えました。情報発信を一層充実させ、学校への期待や関心を高めていただけるように取組んでまいります。

▶学園生の健康の保持・安心安全の確保・いじめ体罰自殺防止に関する設問について、肯定的評価はQ6・8・7は90%以上95%未満、Q9については89%となりました。社会問題となっているスクールバス・医療的ケア専用通学車両の安全運行に関する教職員・乗務員研修の実施、総合防災訓練の実施、感染症予防対策の徹底は今後も継続します。新たな校舎と施設設備を安全に使用するためのマニュアルや環境整備、防災辞典の作成など、安心安全の土台となる取組みを、様々な媒体を活用して発信していることが評価されたと考えています。万一怪我や事故が発生した場合の再発防止につきましては原因究明と改善策の策定及び再発防止研修の実施に迅速に取り組み、当該学園生保護者との情報共有を今後も継続してまいります。

▶医療的ケアの安全な実施環境については90%前半の肯定的評価を得ました。一方で付き添い期間の短縮化と専用通学車両の運行については様々な課題をご指摘いただきました。看護師確保については東京都教育委員会が人員確保の取り組みを継続しています。付き添い期間の短縮化については待機が終了するまでの計画の明確化、必要な情報提供や合意形成の方法改善を図ってまいります。令和5年度には改善策についてお示しいたします。

▶学習指導・専門性向上については、Q4・5・6の肯定的評価が90%に届きませんでした。読書活動、光明アートプロジェクトに対する肯定的評価は90%を超えています。昨年度と同様に学校全体として発信機会の多い取組みへの評価が高く、担任による日常的な取組みに関する情報発信は課題のままです。外部専門家活用時の事前事後説明や、研修成果を個別学習等の改善に役立てた例などを連絡帳に記載したり、学部・学年の情報発信の改善を図るようにして取組みます。引き続き「学園生の命を守る」を第一に「学びを止めない」ように全力を尽くしてまいります。コロナ以前の教育活動のノウハウが継承されていない状況下で、教育活動の制限が段階的に解除しつつ、安心安全の確保を最優先に歩みを進めてまいります。

▶今年度も地域支援と進路指導については90%を超える肯定的評価を得ました。「学校から社会へ」「社会を学校に」の取組みに対するこれらの肯定的評価を励みとしていきます。

▶ライフワークバランスに関する取組では、業務の効率化が継続課題です。職員室等の執務環境整備は他校の模範となる評価を得ました。教員志望者が「働きたい」と思える職場環境の創出に、邁進してまいります。